

県外派遣報告書

審判員名	小林 恵	所属	ミニ連
大会名	平成28年度 関東ブロック女性審判講習会		
期間	2016年7月16日～7月17日		
会場	栃木県立県北体育館		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
7月16日(土)	ルールテスト・フィットネステスト	栃木県立県北体育館	
7月17日(日)	実技テスト	栃木県立県北体育館	
会議 講義 内容			
<p>審査委員長・小林氏より、この中から一人でも多くのA級審判員が出るよう願っています、とお話をいただきました。また、関東ブロック長・渡邊氏より、「ここは何か新しいことをチャレンジする場ではなく、これまでやってきた成果を発揮する場である」というお話をいただきました。</p>			
実技			
担当試合	期 日	7月17日(日)	男子 <input type="radio"/> 女子 <input checked="" type="radio"/>
	対戦カード	矢板中央 VS 水城	主審 <input type="radio"/> 副審 <input checked="" type="radio"/>
	相手審判	日向 美奈 氏(山梨県)	
ミーティング内容		主任 菊地 真吾 氏(群馬県)	
<p>よい意味では落ち着いてプレイを見ているが、一つ一つのプレイを判定できる位置にいないことが多い。特にトレイルでは、全体をとらえることはできても、そのプレイを判定できない場所にとどまってしまう。そのため、トラヴェリングを取り上げたり、取り上げなかったりといった判定の一貫性の無さにつながってしまっている。積極的にプレイに足を運び、判定をしに行く意識をもたなければならない。</p> <p>また、前半センターがショットにいかうとターンをした場面は、オフェンスファウルを宣すべきであった。キーになるプレイヤーのファウルやヴァイオリションは、逃さずに起きた時点で取り上げなければならない。</p>			
全体の感想			
<p>判定力の向上のためには、まだまだやらなければならないことがあると感じました。プレイの理解や予測、足を運ぶこと、勇気と決断など、自分に足りないものが数多くあると思いました。特に、ここに懸けている受講者の皆さんの姿から、それを感じました。今回の講習をいい経験で終わりにせず、次のステップへ結びつけるよう努力していきたいと思えます。最後に、ご指導いただいた先生方、講習会を運営して下さった栃木県の皆様、このような機会を与えて下さった埼玉県の皆様に感謝申し上げます。</p>			